

平成26年度第1回原子力安全対策プロジェクトチーム会議の開催について

平成26年5月21日

原子力安全対策課

本年度の原子力防災体制の整備、島根原発の状況等について関係者間で確認を行うため原子力安全対策プロジェクトチーム会議を開催しました。

- 1 日 時 平成26年4月22日（火）午後2時45分～3時30分
- 2 場 所 災害対策本部室
- 3 出席者 知事、副知事、統轄監、各部局長、警察本部、教育委員会、中国電力 等
※米子市、境港市は原子力防災ネットワークのテレビ会議で参加。各市町村にも自治体衛星通信で配信。

4 内容等

(1) 島根原子力発電所2号機の審査状況等（説明者：中国電力島根原子力本部）

島根原発2号機の新規制基準適合審査の状況、住民説明会の準備状況、最近のトラブル等について説明を受け、質疑応答を行うとともに、本県回答（H25.12.27）の確実な履行、本県への適時適切な説明・報告等を改めて求めました。

○審査状況 規制委員会から指示による宍道断層端部評価のデータ拡充等

○ガスタービンの焦げの原因

原因究明のため、製造元である国外メーカーに対して技術者の派遣を要請中。判明した段階で改めて報告する。

○汚染水対策の取組状況

地下水の流況調査を行っているところであり、梅雨期の状況を確認した上で対策を検討し、報告する。

○フィルター付ベントの検討状況

審査会合において、ガス状放射性物質に対する対策（有機ヨウ素フィルターなど）を求められており、そのための対応を検討中。

(2) 検討事項（取組の基本方針）

○避難時間の短縮（4日間→20時間）に伴う実施体制の確保等について各WGで作業を進めるとともに原子力防災訓練等で検証し、それらを計画修正に反映させることで、計画の深化とより一層の実効性の確保を行うことを確認しました。（PDCAの実施）

・輸送手段、スクリーニング体制の確保等について各WGで作業を進める

・社会福祉施設、医療機関、学校等の避難計画策定の促進

○原子力環境センター（仮称）、ホールボディカウンタの整備

(3) 今年度の取組

ア 原子力防災訓練 ……2県6市共同訓練

・（新）計画でスクリーニング会場としている施設でのスクリーニングの実施

・（新）住民の方へのわかりやすい広報、情報伝達の実施

・多様な避難手段の実効性の確保（JR、航空機、船舶等）を引き続き実施

・社会福祉施設の入所者、医療機関の入院患者、在宅の避難行動要支援者の避難

イ モニタリング情報の住民への提供

ウ 資機材等の整備

・原子力環境センター（H26～27）、ホールボディカウンタ（H26）の整備に取り組む

エ 原子力防災専門家会議

・H26.4.1に西田良平氏（鳥取大学名誉教授）を新たに任命。

※島根原発2号機の安全審査について、地震、津波に関する専門的な確認等